

平成 23 年度

第 1 回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時：平成 23 年 4 月 20 日（水）17:00～18:00

場所：北海道大学 エンレイソウ 第 1 会議室

出席者（順不同、敬称略）：

高橋 庸夫（H23 支部長）、橋詰 保（H23 会計監査）、前田 貴章（H23 釧路幹事）、
篁 耕司（H23 旭川幹事）、戎 修二（H23 室蘭幹事）、武山 真弓（H23 北見幹事）、
熊野 英和（H23 庶務幹事）、原 真二郎（H23 庶務幹事）、笹倉 弘理（H23 会計幹事）、
海住 英生（H23 会計幹事）、松田 健一（H22 会計幹事） 以上 11 名

欠席者（順不同、敬称略）：

高田 明雄（H23 函館幹事）、坂井 賢一（H23 千歳幹事）、福井 孝志（H23 支部評議員）、
山本 眞史（H23 支部評議員）、笹木 敬司（H23 本部理事）、中村 隆（H22 釧路幹事）、
石井 良博（H22 函館幹事）、阿部 良夫（H22 北見幹事） 以上 8 名

議事録作成者：

熊野 英和（H23 庶務幹事）

議題

1. 新旧の支部役員の引き継ぎ

- ・新役員の自己紹介が行われた。

2. 第 47 回（2012 年）北海道支部学術講演会について

- ・会場：北海道大学 学術交流会館、日時：2012 年 1 月 6 日（金）・7 日（土）の開催が報告され、了承された。

- ・第 48 回（2013 年）学術講演会は、釧路で行われる予定である。平成 24 年度釧路幹事・前田先生が会場幹事となる予定である。

今回、釧路市からの補助金(10 万円)はない可能性が高い。ただ、無くても開催は可能である。予算を切り詰める必要がある（笹倉先生）。

場所に関してはまだ予約をしていない。釧路市生涯学習センター「まなぼつと幣舞」、あるいは、釧路市交流プラザさいわいのどちらか一方を検討中である（前田先生）。開催期間も早めに決めた方が良いがまだ正確には決まっていない。11 月末、あるいは、1 月中旬（11, 12 日）で検討した方が良いという意見にまとまった。

3. 平成 23 年度事業計画及び予算報告について

事業計画：

熊野先生より、(1) 学術講演会の開催により民間企業や高専・大学研究者間の交流を進めること、(2) 最新の科学技術に触れる機会を広く提供するため、各地域の市民、とりわけ児童・生徒などを対象に特色ある理科啓発活動を行うこと、(3) 会員間の情報交換や議論の身近な機会として、研究会・講演会を開催することを基本方針とするという、これまでの方針を継続することが報告された。

本年度のリフレッシュ理科教室については、リフレッシュ理科教室補助金 50 万円、電気学会補助金 10 万円の合計 60 万円で開催すると報告された（熊野先生）。

すでに、旭川高専では、リフレッシュ理科教室が行われた（篁先生、旭川幹事）。20 万円内で行われ、参加者は 166 人であった。

予算報告：

・本年度予算について、説明がなされた（会計幹事・笹倉先生）。リフレッシュ理科教室に関しては本部の意向により減額の可能性がある。減額金額は正式には決まっていないが、100 万円から 94 万 4 千円に減額されとの見込み。現在、本部で検討中である。前会計幹事の松田先生より、減額されたとしても、予定通り進められるとの意見を頂いた。

4. 学術講演会における参加登録費の徴収について

支部の財政難のため、参加登録費を徴収することが報告され、了承された（高橋先生）。

原稿と改訂については下記のとおりである。

（現行）

講演料：

学会会員： 無料

非会員（学生・大学院生）： 無料

非会員（一般）： 5,000 円

（但し、共著者に本会会員がいれば無料とする。）

（改定）

参加登録費：

応物学会・光学会会員： 1,000 円

学生（会員・非会員問わず）： 1,000 円

一般（非会員）： 5,000 円

（上記、登壇者・聴講者を含む全参加者に適用。引き換えに予稿集をお渡しします。）

（当日、現金にて徴収。引き換えに領収書を発行します。クレジットカード等、他の支払い方法には応じられませんので、必ず現金をご用意下さい。）

参加登録費の徴収については特に議論がなかったが、金額については一律 1,000 円では不

足ではないかとの意見もあり、今回は試行との立場で、今後の状況次第で更に参加登録費を上げる可能性もある旨コメントされた（原）。

5. 支部長会議について

地震の影響でまだ開催されていない（高橋先生）。

6. 理事会について

現在のところ、報告事項なし（高橋先生）。

7. その他

応用物理学会は、来年春、**MRS** と合同でサンフランシスコにて行われる予定。おそらく、シンポジウムという形で行う。通常通り、日本でも開催する予定。海外発表の場合、学生には1人10万円のサポートを予定。なお、シンポジウムを提案したら、100万円くらい**MRS** から支援される。これは招待講演者への謝金・旅費等に充てられる。

応用物理学会では、現在広告収入が大きく減少している。 応用物理学会の公益法人化に伴う会計基準の見直しに対応して単年度決算で黒字にするため、会費の増額を検討中であることが報告された（高橋先生）。